

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月9日

事業所名 発達支援ルームAQUA

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1			グループに応じ、近隣のスポーツ施設等を利用している。	継続して取り組みたい。
	2 職員の配置数は適切である	9	1			余裕を持って配置している。	制度上の人員は満たしているが、実務レベルで適切かどうかの指摘があり、今後、業務内容等の見直しを検討したい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	3		完全にバリアフリーではないが、段差をスタッフでサポートしたり、扉ストッパーなどが使用されている。	利用者に応じ、バリアフリー化等について検討する。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	3		1		全ての職員という点で、十分ではないことがあるので、スタッフ間での共有方法について今後の検討課題としたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1		1	意見箱を設置し保護等の意見の把握に努めている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2	1	1		公表しているが、スタッフ間での共有が不十分なので、会議等で周知の徹底を図りたい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	6	1		第三者委員会の設置について今後の検討課題とする。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1			機会に恵まれていると思う。	スタッフ個人の関心や専門性に合わせた研修会の計画・立案に努めたい。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1			専門職を配置し、検査などのアセスメントに従事させている。	継続する。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1			専門職を配置し、検査などのアセスメントに従事させている。	継続する。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1			毎日ミーティングを実施している。	継続して実施する。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1		1		遊びが同じになりやすくバリエーション増やしたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	4		1	夏休みには水遊びを実施している。グループに応じ、野外活動等を実施している。	さらなる充実に向け取り組みたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	1				実施しており、継続したい。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10				毎日ミーティングを実施している。	「十分出来ない場合もある」との意見もあり、ミーティングの時間設定等を含め見直しをしたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1			時間はとっているが十分ではない。	定期的なケース会議の時間を別途設けているが、不十分だと思われる。更に時間を設定したい。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1			毎日、支援の振り返りを行い、次回に繋げている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	1			子供の状態の変化や保護者のニーズを適宜取り入れられるように努めて	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	4				対象児により異なるが、さらなる充実に向け、取り組みたい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	9	1				可能な限り参加しているが、全てとは言えないた め、今後の課題であり、出来るだけ参加に努め たい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	5	4	1			送迎を行っていない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		2	3	5	該当児なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	7	3				対象児により異なるが、さらなる充実に向 け、取り組みたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	8	1	1			数年前、卒業した利用児の移行時に支援内 容の情報提供を行いしばらくの期間連携し た。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	7	2		1	発達障害者支援セ ンター等が主催す る研修会等に参加 できるように努めて	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	7	1	実施していない。	事業所として交流の機会を持つか否か、今 後の課題である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	7	1	1	1	代表者が参加し ている。	継続して参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	9	1				「もう少し保護者とのコミュニケーションの機会が必要」 との意見もあり、人為配置などを工夫して、担当者 と保護者が意見交換できるような機会を更に増や したい。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	5	2	2	1	サポートブック作成を 通し、子どもの特性 理解に向け取り組ん でいる。	PT等の実施について、needsを調査し、可能 な限りで対応していきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	9	1				利用契約時に個別に実施している。継続し て取り組みたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	9	1			保護者が毎回来所して おり、コミュニケーションを図る よう心がけている。適宜個 別に面談を行っている。	継続して取り組みたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	5	2	1	保護者の研修で保護者 同士が交流したりグ ループ活動の時には保 護者同士話したりして いる。	年齢や特性別の勉強会等の開催に合わ せ、保護者間の交流の機会を増やしてい きたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	8	1		1	相談箱を設けて対応 している。苦情がある 時は迅速に対処する とともに、別途時間を 設けて話を聞くなどの 対応をしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4	4	1	1	会報はないがチラシや張り紙が ある。必要に応じて行事予定を 伝えている。特別プログラムなど はその都度紙面にてお知らせし ている。	現状は、活動内容やグループに限るため、 さらなる発信の必要性について検討したい。
	35	個人情報に十分注意している	10				今後も職員への周 知徹底を継続して いきたい。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	9	1			それぞれの子ども や保護者の特性に ついて職員間で共 有し、適宜対応し	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	1	7	1	実施していない。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	2				作成し、周知しているが、全ての職員で共有出来ていないようなので、今後周知の仕方について検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1			年2回、定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2			年間行事で研修を設定し、周知徹底を図っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2	4	2	該当児なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	4	2	定期的な食事の提供を行っていないため。	調理時の確認が必要であるため、活動の立案に合わせ実施する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	3		1	毎日のミーティングで情報共有している。	職員間で報告し共通理解を図っている。